

## 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）について

### 1. 名鉄広見線(利用者)の状況について

- ・H25 年度から 3 年間の運行が継続となり、名鉄広見線活性化協議会において活性化策を展開しておりますが、**利用者減に歯止めがかからない**状況です。(別紙資料参照)
- ・この H25 年度から H27 年度の 3 年間で利用者が下げ止まらなくては其後の運行は厳しいと認識しないとけません。沿線市町から名鉄側への運行支援も年 1 億円(御嵩町 7 千万円、可児市 3 千万円)と、非常に大きい負担をしています。
- ・広見線利用者の特徴として、**利用者の 5 割以上が通学定期利用者**であり、**将来、広見線を利用して通学する子どもたちのためにも**残していかななくてはならない路線です。
- ・昨年度の調査で、可茂地区内高校生(5,875 人)の内、**521 人(約 9%)が広見線で通学**しています。(別紙資料参照)
- ・広見線活性化協議会では、H25 年度からの 3 年間の目標を下記のように定め活動しております。

▼ 平成 24 年度の利用者数(94 万 9 千人)を維持する(H25 年度～H27 年度)

### 2. 名鉄広見線沿線住民アンケートの実施について

#### 【調査の対象】

- ・沿線住民アンケート:調査票配布件数3,400(可児市1,700、御嵩町1,700)
- ・沿線高校生アンケート:調査票配布件数1,337(東濃高校・東濃実業高校・八百津高校)

#### 【調査事業の目的】

沿線住民や、沿線の高等学校在校生へのアンケート調査結果から名鉄広見線の平成 28 年度以降の支援継続の枠組みを検討していく基礎調査として活用することを目的とするもの。

#### 【アンケートスケジュール(予定)】

- ・平成 26 年 7 月:アンケート調査表配布
- 8 月:アンケート調査表回収
- 10 月:アンケート結果の分析
- 12 月:最終成果品の完成

